

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立鷺宮高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(総務主任兼務)=事務局長、教務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(進路指導担当)、生活指導主任、総務部主任、保健環境部主任、各学年3名 計11名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
鷺宮地区委員会委員長、PTA会長、近隣中学校長、近隣小学校長経験者、近隣自治（商店街）会長、近隣自治会長、近隣幼稚園園長 計7名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～4回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月18日（水曜）内部委員11名、協議委員4名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和7年11月19日（水曜）内部委員11名、協議委員4名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和8年3月11日（水曜）内部委員7名、協議委員7名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月18日（水曜）内部委員1名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和7年11月19日（水曜）内部委員1名、協議委員2名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第3回 令和8年3月11日（水曜）内部委員1名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・11月	全校生徒	対象：804人	回収：793人	回収率：98.6%
・12月	保護者全員	対象：804人	回収：134人	回収率：16.7%
・12月	地域・住民	対象：100人	回収：20人	回収率：20.0%
・12月	教職員	対象：43人	回収：27人	回収率：62.8%
- (3) 主な評価項目
・授業内容、特色、家庭学習、学校行事、部活動、基本的な生活習慣、美化活動、教育相談、進路指導の方法と内容、生活指導、図書館利用、満足度、情報発信、オンライン授業、ライフ・ワーク・バランスの推進
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・生徒、保護者及び教職員ともにおおむね肯定的な意見(そう思う・ややそう思う)が半数を超えている。
 - ・地域住民も「学校が以前に比べ良くなっているか」の質問に、「よくなっている、ややよくなっている」と肯定的な答えが65%と前年を上回っている。
 - ・「本校を選んで良かった」の質問に対して、「そう思う・ややそう思う」と肯定的に答えた件数は生徒91%、保護者93%以上と高い。双方とも本校の教育活動に満足していると考えられる。同様の質問（鷺宮高校を選んで良かったと思っている保護者、生徒が多いと思う）について、教職員の肯定的な答えは92%である。
 - ・生徒、保護者及び教職員ともに「生徒が家庭学習を行っているか」の質問への肯定的な答えの割合が

低い項目としていずれも1位となっている。

- ・生徒、保護者及び教職員とも「地域の行事に参加しているか」の質問への肯定的な答えの割合が低い。地域住民においても「学校が力を入れたほうがよいと思うものは」の質問の最多数が「地域活動への参加」であった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業に満足している。授業改善、工夫への取り組みが成功している。
- ・保護者から本校に対する期待や要望を把握することができ、課題が明確になり対策を考えることができた。学校の教育活動に関するアンケート項目において、生徒及び教員の満足度は高いのに比べ、保護者の満足度が低い項目があった。学校の教育活動の内容が保護者に伝わっていないことが分かった。
- ・地域からは、以前より本校が良くなっているという声もいただくことができた。アンケートの満足度が高いことから、良い学校であるとの評価をもらった。この反面、地域活動への参加が求められていることが分かった。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民は、学校の教育機能をより一層活用したいと望んでいることが分かった。
- ・ホームページでの情報発信や保護者との連絡ツールの検討
- ・登下校中のマナーや交通ルールの遵守
- ・地域連携の充実
- ・教職員のアンケート回答率の改善
- ・例年、生徒の家庭学習の項目の低さが課題である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・保護者に対して、教育活動の理解を深めるため連絡ツールの活用を検討する。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。

（2）学習指導

- ・アクティブラーニング、デジタル技術の活用などで深い学びや主体的な学びに繋がる授業改善を進める。オンライン授業の取組についても組織的に対応していく。また学習アプリを併用して家庭学習の習慣を身に付け、学力の定着を図る。

（3）特別活動

- ・部活動や学校行事の満足度を一層高め、部活動など退部率を下げる。一部の生徒ではなく、全体の生徒に自主・自律的に取り組むよう指導する。また、地域の行事にも参加するなどして地域との連携を深める。

（4）生活指導

- ・自転車のマナー教育や社会のルールを遵守させ、遅刻指導などの基本的な生活習慣の定着を一層進める。
- ・服装や頭髪を含めた身だしなみ指導について、指針を周知する。

（5）進路指導

- ・COMPASS&MAPを活用し3年間を見通した進路指導計画に基づき、生徒に高い志を持たせ、最後まであきらめさせずに第1志望の4年制大学等への進路実現を果たす。

（6）健康・安全

- ・交通ルールの遵守や薬物乱用防止・情報モラルの指導、緊急事態への対応の整備など、健康の保持増進と安全を図る体制の整備を進める。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数 7人

（2）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
5	1					1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】

- ・委員の意見を参考に、文化祭において地域との交流機会を設け、連携強化を深めた。
- 8 その他
- ・生徒の回答率は上がったがその他の回答率が低い。Formsによる回答を工夫することが望まれる。
 - ・